



国土交通省

富山河川国道事務所

記者発表資料

平成31年1月29日
配布：県政記者クラブ
扱い：配布後解禁

常願寺川水系、神通川水系洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）の表示の誤り及び今後の対応について【お知らせ】

国土交通省北陸地方整備局が既に公表している常願寺川水系および神通川水系の洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）について、着色方法等に誤りがありましたので、その概要及び今後の対応についてお知らせします。

今回の浸水継続時間の表示の誤りは、洪水ハザードマップを作成しようとしている富山市から、浸水継続時間に関する問合せがあり判明しました。

浸水継続時間の計算過程を確認したところ排水条件等の反映の仕方に誤りがあり、想定される浸水継続時間が現在表示されている時間より大幅に長期化する可能性があることが明らかになりました。（誤りが明らかになった図は別紙－1～6です。）

富山河川国道事務所としては、早急に必要な再計算を行い、平成30年度末までに洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）を修正・公表するとともに、関係機関と十分調整を行い、住民への周知を図ることとしています。

また、常願寺川水系、神通川水系に加え、庄川および小矢部川についても現在点検を行っています。

常願寺川水系、神通川水系、庄川水系、小矢部川水系（国管理区間）の洪水浸水想定区域図については、こちらに掲載しています。

URL <http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/index.html>

お問い合わせ先

国土交通省 富山河川国道事務所
副所長（河川） 渡邊 一成 調査第一課長 澤原 和哉
Tel 076-443-4701（代表） 平日昼間 Tel 076-443-4715（直通） 平日昼間

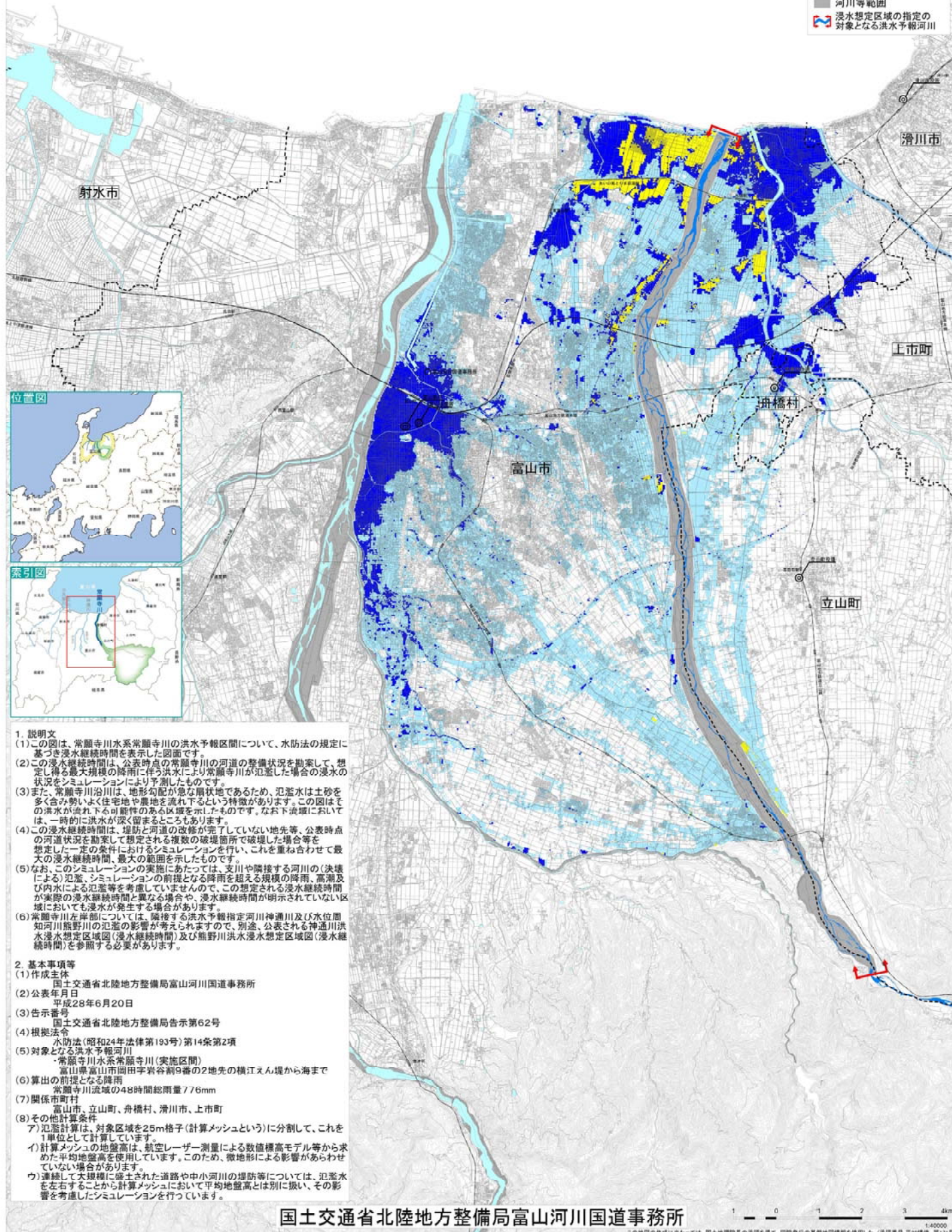


国土交通省 北陸地方整備局
〒930-8537 富山市奥田新町2番1号
https://twitter.com/mlit_toyama

富山河川国道事務所
<http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

常願寺川水系常願寺川洪水浸水想定区域図 (浸水継続時間)

※ 浸水継続時間が長くなる等の可能性があります。



神通川水系神通川洪水浸水想定区域図 (浸水継続時間)



凡 例

浸水継続時間(浸水深0.5m以上)
(ランク別)

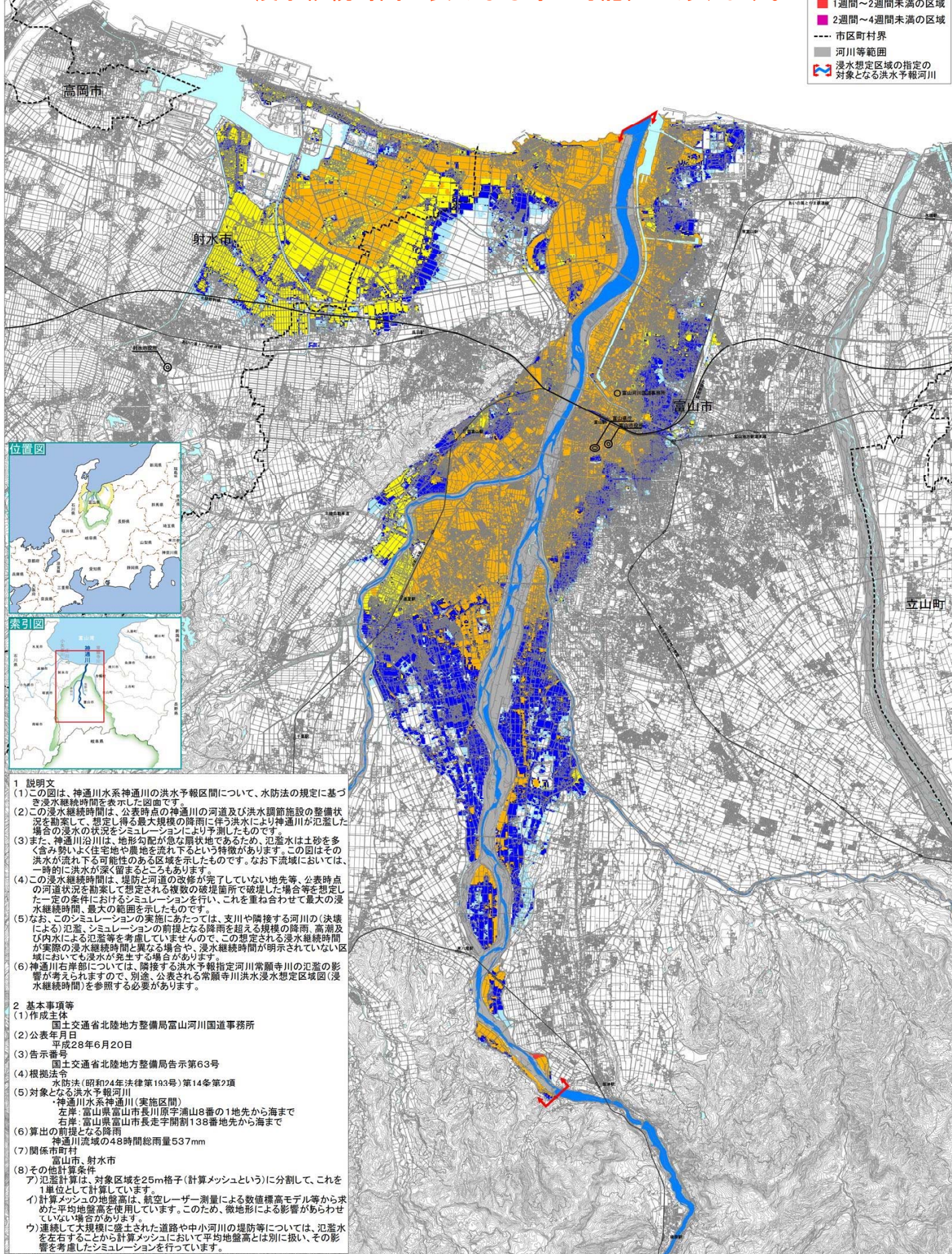
12時間未満の区域	12時間～1日未満の区域
1日～3日未満の区域	3日～1週間未満の区域
1週間～2週間未満の区域	2週間～4週間未満の区域

--- 市区町村界

河川等範囲

浸水想定区域の指定の
対象となる洪水予報河川

※ 浸水継続時間が長くなる等の可能性があります。



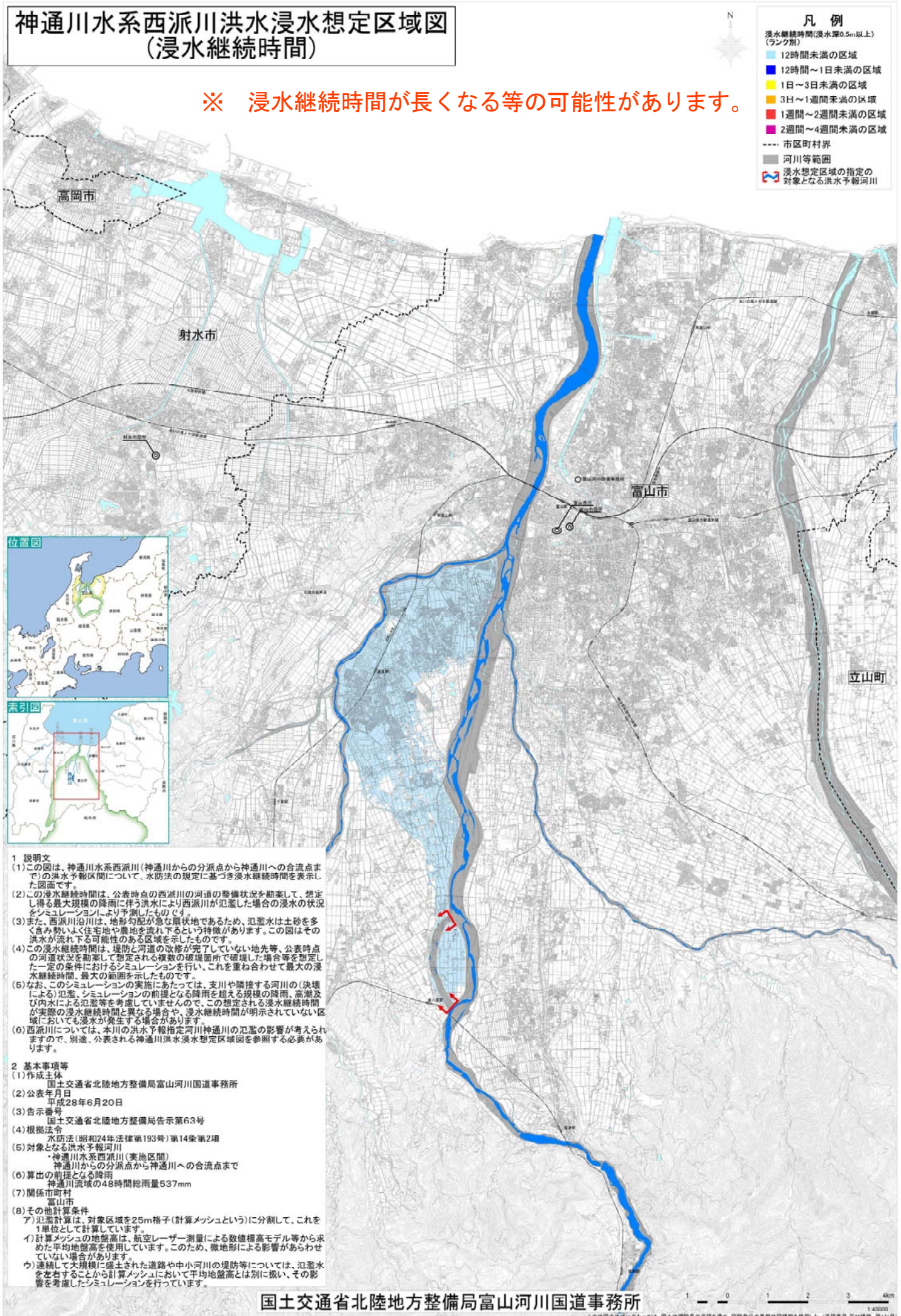
- 1 説明文
- (1) この図は、神通川水系神通川の洪水予報区間について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
- (2) この浸水継続時間は、公表時点の神通川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定される最大規模の降雨に伴う洪水により神通川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) また、神通川沿川は、地形勾配が急な扇状地であるため、氾濫水は土砂を多く含み勢いよく住宅地や農地を流れ下るといった特徴があります。この図はその洪水が流れ下る可能性のある区域を示したものです。なお下流域においては、一時的に洪水が深く留まることもあります。
- (4) この浸水継続時間は、堤防と河道の改修が完了していない地先等、公表時点の河道状況を勘案して想定される複数の破堤面所で破堤した場合等を想定した一定の条件におけるシミュレーションを行い、これを重ね合わせて最大の浸水継続時間、最大の範囲を示したものです。
- (5) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川や隣接する河川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
- (6) 神通川右岸部については、隣接する洪水予報指定河川常願寺川の氾濫の影響が考えられますので、別途、公表される常願寺川洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)を参照する必要があります。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体
国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所
- (2) 公表年月日
平成28年6月20日
- (3) 告示番号
国土交通省北陸地方整備局告示第63号
- (4) 根拠法令
水防法(昭和44年法律第193号)第14条第2項
- (5) 対象となる洪水予報河川
神通川水系神通川(実施区間)
左岸: 富山県富山市長川原字浦山8番の1地先から海まで
右岸: 富山県富山市長走字開割138番地先から海まで
- (6) 算出の前提となる降雨
神通川流域の48時間総雨量537mm
- (7) 関係市町村
富山市、射水市
- (8) その他計算条件
ア) 氾濫計算は、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。
イ) 計算メッシュの地盤高は、航空レーザ測量による数値標高モデル等から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわされていない場合があります。
ウ) 連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、氾濫水を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所

1:50000
この図面の作成にあたっては、国土院の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(承認番号 平28情保、第171号)

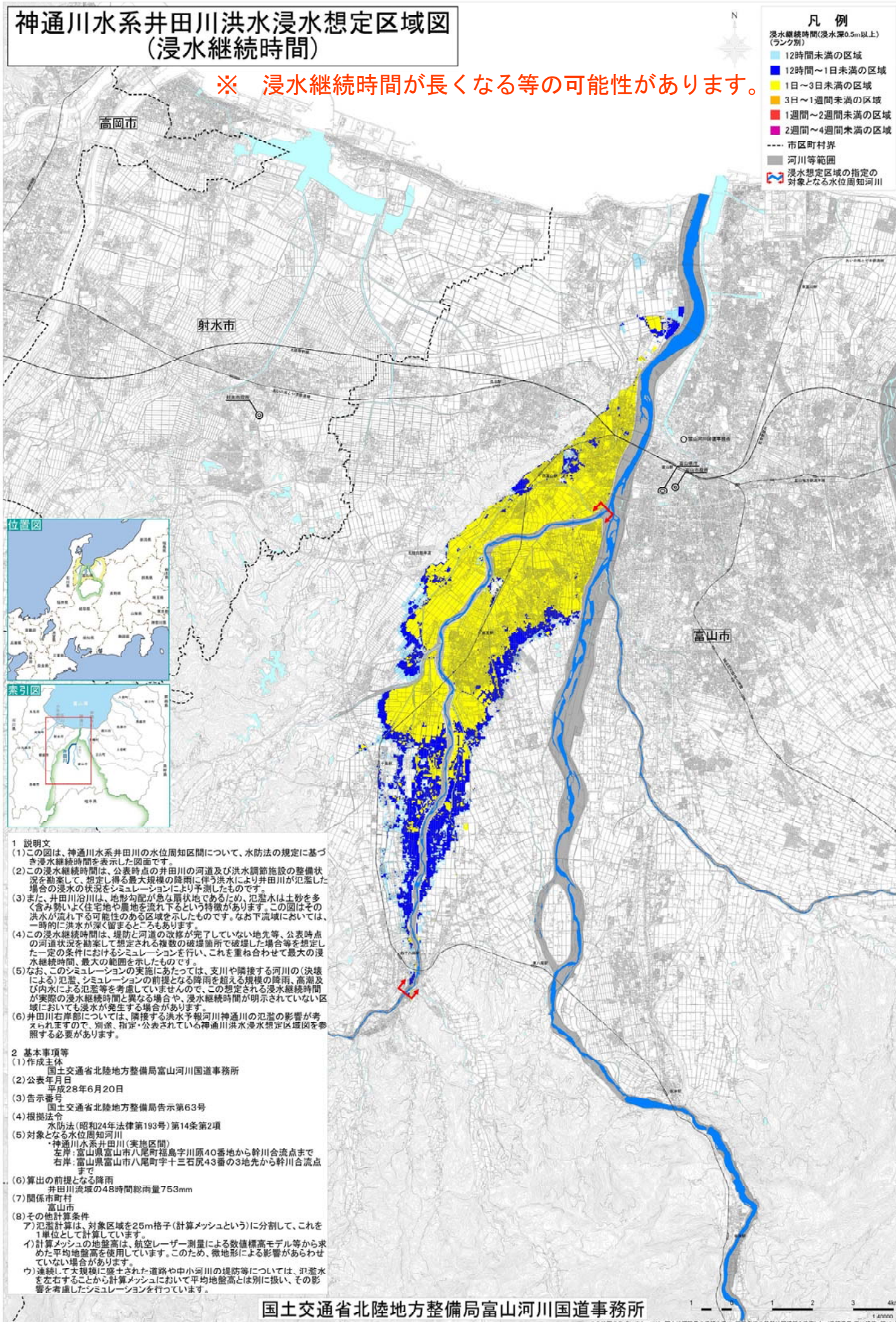
神通川水系西派川洪水浸水想定区域図 (浸水継続時間)

※ 浸水継続時間が長くなる等の可能性があります。



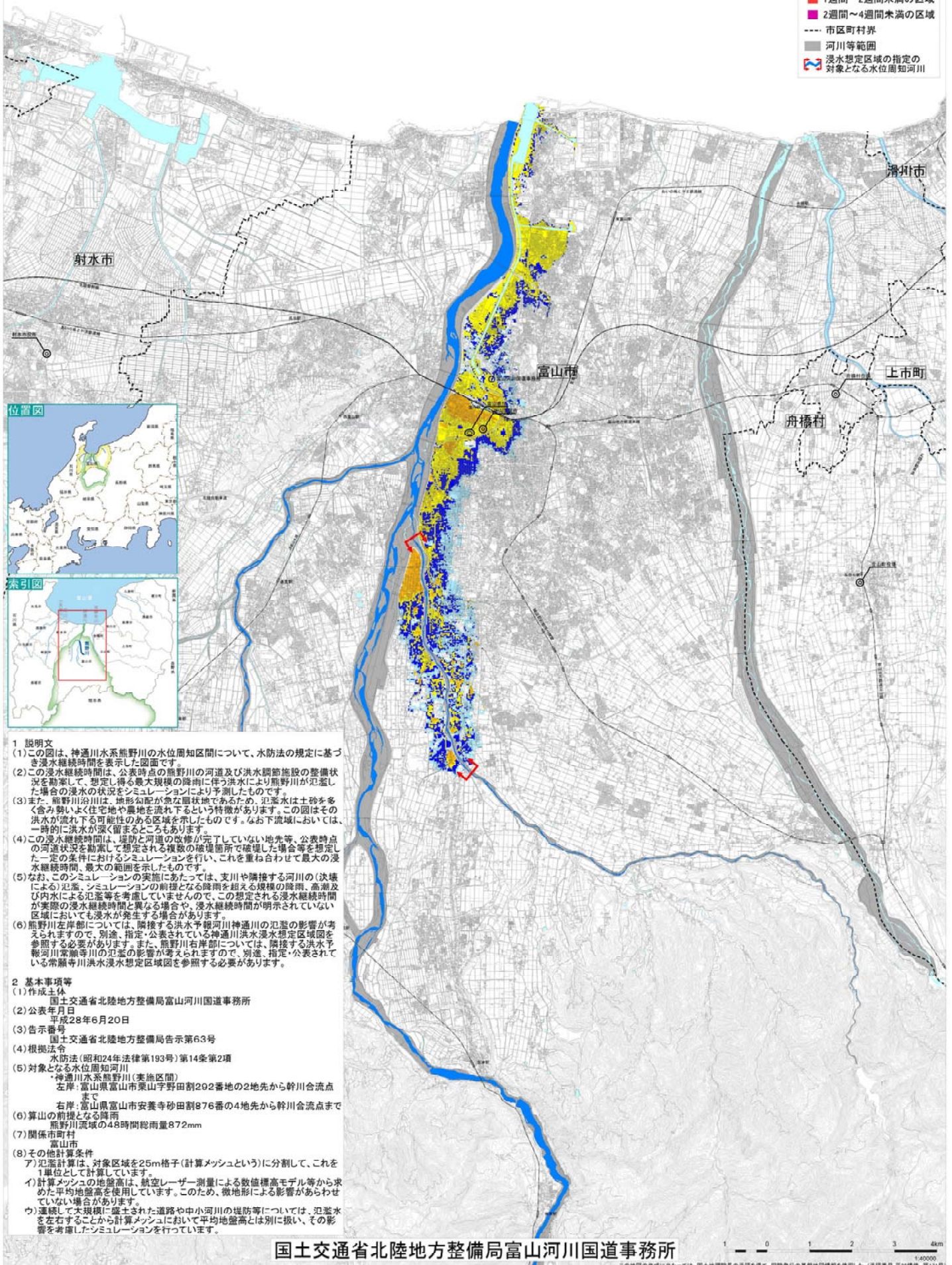
神通川水系井田川洪水浸水想定区域図 (浸水継続時間)

※ 浸水継続時間が長くなる等の可能性があります。



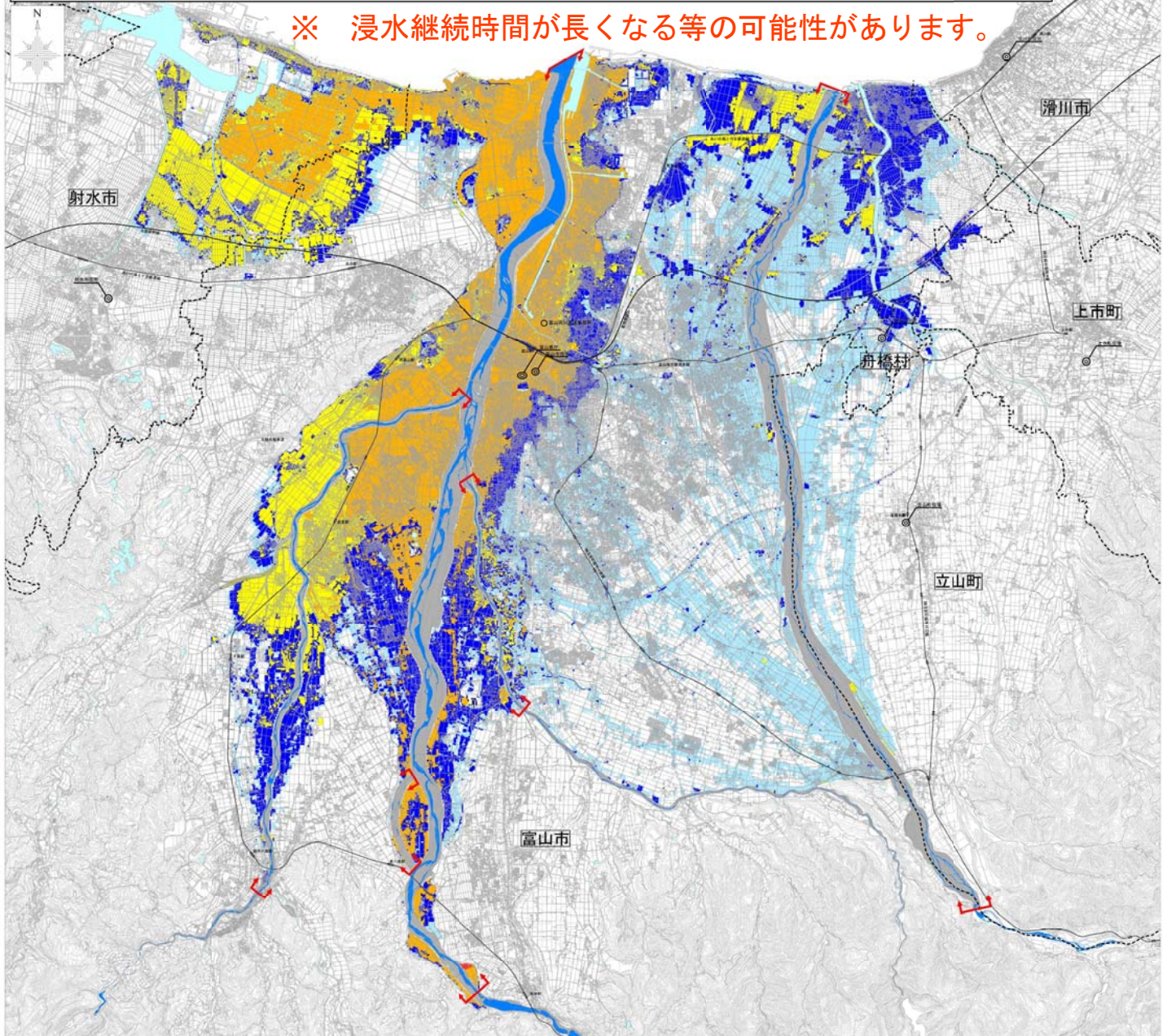
神通川水系熊野川洪水浸水想定区域図 (浸水継続時間)

※ 浸水継続時間が長くなる等の可能性があります。



常願寺川水系常願寺川、神通川水系神通川・西派川・井田川・熊野川 洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)

※ 浸水継続時間が長くなる等の可能性があります。



- 1 説明文
- (1)この図は、常願寺川水系常願寺川、神通川水系神通川、神通川水系西派川(神通川からの分派点から神通川への合流点まで)の洪水予報区域及び神通川水系井田川、神通川水系熊野川の水位周知河川について、水防法に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
 - (2)この浸水継続時間は、公表時点の常願寺川の河道の整備状況及び神通川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3)また、常願寺川、神通川、西派川、井田川、熊野川の沿川は、地形勾配が急な扇状地であるため、氾濫水は土砂を多く含む勢いよく住宅地や農地を流れ下るといった特徴があります。この図はその洪水が流れ下る可能性のある区域を示したものです。なお下流域においては、一時的に洪水が深く留まることもあります。
 - (4)この浸水継続時間は、堤防と河道の改修が完了していない地先等、公表時点の河道状況を勘案して想定される複数の破壊箇所での破壊した場合等を想定した一定の条件におけるシミュレーションを行い、これを重ね合わせて最大の浸水継続時間、最大の範囲を示したものです。
 - (5)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川や隣接する河川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2 基本事項等

- (1)作成主体
- (2)公表年月日
- (3)告示番号
- (4)根拠法令
- (5)対象となる洪水予報河川及び水位周知河川

国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所
平成28年6月20日
国土交通省北陸地方整備局告示第62号
国土交通省北陸地方整備局告示第63号
水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
・常願寺川水系常願寺川(実施区域)
・富山県富山市岡田字岩谷割9番の2地先の横江えん堤から海まで
・神通川水系神通川(実施区域)
左岸:富山県富山市長川原字浦山8番の1地先から海まで
右岸:富山県富山市長走字開割138番地先から海まで
・神通川水系西派川(実施区域)
神通川からの分派点から神通川への合流点まで
・神通川水系井田川(実施区域)
左岸:富山県富山市八尾町福島宇原40番地から幹川合流点まで
右岸:富山県富山市八尾町宇原43番の3地先から幹川合流点まで
・神通川水系熊野川(実施区域)
左岸:富山県富山市美山字野田割292番地の2地先から幹川合流点まで
右岸:富山県富山市安曇寺砂田割876番の4地先から幹川合流点まで
常願寺川流域の48時間総雨量776mm
神通川流域の48時間総雨量537mm
井田川流域の48時間総雨量753mm
熊野川流域の48時間総雨量872mm
富山市、立山町、舟橋村、滑川市、上市町、射水市

(6)算出の前提となる降雨

(7)関係市町村

(8)その他計算条件

- 氾濫計算は、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。
- 計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量による数値標高モデル等から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわれない場合があります。
- 連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、氾濫水を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。
- 浸水深には、直轄管理区域以外の区域からの越水・溢水の流入を見込んでいます。

位置図



索引図



凡例

- 浸水継続時間(浸水深0.5m以上)
(ランク別)
- 12時間未満の区域
 - 12時間～1日未満の区域
 - 1日～3日未満の区域
 - 3日～1週間未満の区域
 - 1週間～2週間未満の区域
 - 2週間～4週間未満の区域
 - 市区町村界
 - 河川等範囲
 - 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川及び水位周知河川

国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所